

平成29年度事業報告

平成29年度事業計画（平成29年4月1日至平成30年3月31日）に基づき実施した事業の概要について報告する。

1 総括（防犯支援等の更なる充実と人手不足対策の推進）

昨年度は、全国警備業協会が推奨する「警備の日」の取組と県安全安心まちづくり推進旬間における活動を連動させ、同期間中、市内バスの車両前面に防犯広報幕を掲げて稼働させたほか、事業所の警備巡回車に広報用マグネットシールを貼付し、警備業が社会の安全と安心に貢献する産業であることを強くアピールした。

また、災害支援の面では、小浜市で開催された中部管区広域緊急援助隊合同訓練に出動したほか、当協会の大規模災害警備支援隊設置運用要綱を制定し、発災時の部隊編成など所要の体制を構築した。

一方、業界の深刻な人手不足問題への対策の一環として、警備業を県民に周知するため、新聞、テレビを媒体とした広報活動を展開したほか、労働局等関係機関と連携し、「わかもの就職応援説明会」への参画や経営者対象の「採用力向上セミナー」の開催など諸活動を積極的に推進した。

2 組織の充実強化

(1) 会員数

ア 正会員

平成29年度の正会員数は、前年度の51社（1社は9条後段業者）のまま推移し、新規の入退会事業所はなかった。

ひき続き、組織の基盤を強化するため、労務単価の向上を始めとする勤務環境の改善等に努めながら勧誘活動を促進していく。

（平成30年3月31日現在）

| | 4条業者 | 9条前段業者 |
|---------|-------|--------|
| 県下認定業者数 | 50社 | 20社 |
| 協会加盟社数 | 39社 | 11社 |
| 協会加盟率 | 78.0% | 55.0% |

（注：協会加盟社数+1社「9条後段業者」）

(2) 業界連携

ア 全国警備業協会及び他県協会との連携

平成29年度は、特別講習等教育事業の効果的な推進をはじめ、適正警備業務の実施、暴力団等反社会的勢力に関する情報収集や排除活動の推進、社会保険未加入問題への対応、「11.1 警備の日」の広報活動への取組等に関する連絡調整やアンケート調査等を通じ、会員と全国警備業協会等との間で緊密な連携を図った。

イ 業界会議等への出席

業界が当面する諸課題等を協議するため、次の会議に関係者を派遣した。

| 月日 | 場 所 | 会 議 の 名 称 | 備 考 |
|-------|-----|------------------|----------|
| 4.15 | 愛知県 | 春季中部警協連合会会長等会議 | 会長、専務 |
| 4.26 | 東京都 | 全警協新任専務理事会議 | 専務 |
| 6.7 | 東京都 | 全警協理事会、定時総会 | 会長 |
| 7.5 | 東京都 | 全国警備業協会春季専務理事会議 | 専務 |
| 9.13 | 広島市 | A P S A 国際会議広島大会 | 会長 |
| 9.28 | 東京都 | 全国警備業協会理事会 | 会長 |
| 11.2 | 東京都 | 「警備の日」全国大会 | 専務、総務委員長 |
| 11.28 | 富山県 | 秋季中部警協連合会会長等会議 | 会長、専務 |
| 12.7 | 東京都 | 全国警備業協会理事会 | 会長 |
| 1.24 | 富山県 | 北陸3県会長等会議 | 会長、専務 |
| 2.16 | 東京都 | 全国警備業協会事務担当者会議 | 主事 |
| 2.27 | 愛知県 | 中部警協連合会事務担当者会議 | 専務、主事 |
| 3.29 | 東京都 | 全国警備業協会理事会 | 会長 |

(3) 会議・委員会等の開催

各種事業の効果的な推進を図るため、委員会等を次のとおり開催した。

| 月日 | 場 所 | 会議の名称 | 協 議 事 項 等 | 出席者数 |
|------|--------------|-------------------|--|------|
| 5.16 | 自治会館 | 第1回総務委員会 | ・理事会提案案件の協議 | 12名 |
| 5.17 | 葵分庁舎 | 県安全安心まちづくり推進会議幹事会 | ・安全安心まちづくり推進旬間の取組計画 | 専務 |
| 5.23 | 自治会館 | 第1回理事会 | ・定時総会上程議案の承認 | 11名 |
| 5.30 | 福井県 県民ホール | 平成29年定時総会 (決算) | ・H28年度事業報告の可決 ・H28年度収支計算の可決 ・H29年度事業計画(案)の承認 ・H29年度収支予算(案)の承認 | 47社 |
| | | 第2回理事会 | ・新役員による会長選出 | 12名 |

| | | | | |
|-----------------|------------|-------------------------------|--|-----|
| 7. 25 | 県自治会館 | 国体準備委員会 | ・情勢と諸準備の進捗状況 | 20名 |
| 9. 15 | 葵分庁舎 | 県安全安心まちづくり推進会議幹事会 | ・安全安心まちづくり推進旬間中の取組状況 | 専務 |
| 9. 28～ 10. 1 | 愛媛県 | えひめ国体視察 | ・国体警備状況の視察 | 専務他 |
| 10. 4 | アイビックス第三ビル | 第2回総務委員会 | ・理事会提案案件（協会事務所移転等）の協議 | 9名 |
| 10. 5 | 葵分庁舎 | 福井県テロ対策パートナーシップ推進会議 | ・福井国体の開催に向けたテロの未然防止対策 | 専務 |
| 10. 12 | アイビックス第三ビル | 第3回理事会 | ・協会事務所移転の承認等 | 12名 |
| 10. 16 | 自治会館 | 交通委員会 | ・安全パトロール実施計画及び実施要領 | 20名 |
| 10. 25 ～26 | 県内 | 交通委員会安全パトロール | ・福井県内5地区の交通誘導警備現場の安全点検 | 25名 |
| 11. 16 | 葵分庁舎 | 暴排対策委員会 | ・H30年度活動方針及び事業計画(案)の承認等 | 9名 |
| 11. 27 | 自治会館 | 労務委員会 | ・平成29年度「労働災害防止応募作品」の審査 ・第15回安全衛生大会(案) | 11名 |
| 12. 9 | フェニックスプラザ | わかもの就職応援説明会 | ・新規雇用の確保 ・警備業界のPR | 2名 |
| 1. 18 | ウェルアオッサ | 経営者研修会 労働安全衛生大会 新春情報交歓会 | ・テロ情勢と未然防止対策 ・立入検査等の結果に基づく業法上の運用と留意点 ・来賓、会員等との情報交歓 | 65名 |
| 2. 1 | 中小企業産業大学校 | 採用力向上セミナー | ・警備事業者の採用業務支援 | 35名 |
| 2. 6 | 協会 | 教育委員会 | ・H30年度講習計画等(書面審査に変更) | 13名 |
| 3. 2 | 協会 | 第3回総務委員会 | ・第4回理事会提案案件協議(平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)) | 11名 |
| 3. 14 | 協会 | 第4回理事会(予算) | ・H30年度事業計画(案)承認 ・H30年度収支予算(案)承認 | 12名 |

3 適正警備業務の推進

警備業務実施の適正を図るため、全国警備業協会、直接監督官庁の公安委員会（警察本部）、労働局等との緊密な連絡体制を維持して関係法令の解釈・運用並びに適正警備業務の実施に関する指導・指示を受け、その都度、これを文書等で迅速かつ適切に会員宛てに周知伝達したほか、労災事故防止、経営者研修会等の開催、暴排活動への積極的な取組等を推進し、適正業務の実施に努めた。

4 社会的地位向上事業の推進

(1) 警備員教育の充実

警備員の知識技能の向上を図るため、各業務別の警備員現任教育を前期、後期を通して次のとおり計6回実施し、延べ174名が受講した。

これは、前年度に比べて受講回数で2回（機械警備業務－2回）、受講者数で38名の減少となった。

| 教育種別 | 実施月日 | 受講者数 | 備考 |
|---------------|--------|------|----|
| 現任教育(施設警備) | 6月 8日 | 24名 | |
| 現任教育(貴重品運搬警備) | 7月29日 | 35名 | |
| 現任教育(施設警備) | 9月14日 | 24名 | |
| 現任教育(施設警備) | 10月 5日 | 24名 | |
| 現任教育(施設警備) | 1月22日 | 28名 | |
| 現任教育(貴重品運搬警備) | 2月 3日 | 39名 | |
| 計 | 6回 | 174名 | |

(2) 教育幹部等の育成

ア 全国教育幹部研修会への派遣

専務を研修センターふじのへ派遣、研修を受講させ、新任講師講習(1号、2号)の資格を取得させた。

イ 特別講習現任講師研修会への派遣

特別講習現任講師14名（施設警備業務1級5名・2級3名、交通誘導警備業務1級4名・2級2名）を研修センターふじのへ派遣、研修を受講させ、13名（施設警備業務1級5名・2級3名、交通誘導警備業務1級4名・2級1名）が資格を更新させた。

(更新講師)

| 種 別 | 級 | 氏 名 | 種 別 | 級 | 氏 名 |
|------|---|-------|--------|---|-------|
| 施設警備 | 1 | 高橋 透 | 施設警備 | 2 | 五十嵐 崇 |
| 〃 | 1 | 坪塚 清孝 | 交通誘導警備 | 1 | 吉木 一 |
| 〃 | 1 | 植野 輝彦 | 〃 | 1 | 下澤 匡之 |
| 〃 | 1 | 川崎 久永 | 〃 | 1 | 高橋 明男 |
| 〃 | 1 | 金田 潤 | 〃 | 1 | 後藤 慎二 |
| 〃 | 2 | 河原 幸広 | 〃 | 2 | 尾崎 真将 |
| 〃 | 2 | 坂口 豊和 | | | |

イ 特別講習講師候補者研修会への派遣

新たな特別講習（雑踏警備業務、貴重品運搬警備業務）講師を育成するため、研修センターふじのへ2名を派遣して受講させた結果、雑踏警備業務2級1名と貴重品運搬警備業務2級講師1名がそれぞれ委嘱された。

| 種 別 | 級 | 氏 名 | 所属企業 | 備 考 |
|---------|---|-------|-------------|-----|
| 雑踏警備 | 2 | 中野 多恵 | (株)アイビックス | |
| 貴重品運搬警備 | 2 | 吉田 貴士 | 北陸総合警備保障(株) | |

(3) 労災防止対策の推進

ア 福井県警備業安全衛生大会の開催

平成30年第15回福井県警備業安全衛生大会を開催（平成30年1月18日）、大会宣言を採択決議し、会員一同が更なる取組強化と平成30年中における『労働災害事故ゼロ』への決意を新たにした。

イ 福井県警備業協会第9回(平成29年度)労働災害防止「論文・ポスター・標語」コンクールの実施及び入選作品の表彰

警備員の災害防止に関する意識の改革・浸透を図るため、啓蒙ポスターの掲示を促進したほか、福井県警備業協会第9回(平成29年度)労働災害防止「論文・ポスター・標語」コンクールを実施し、多数の応募作品の中から優秀作品（論文の部1点、ポスターの部1点、標語の部3点）を選考。入選者を第15回福井県警備業安全衛生大会において表彰し、取組意欲の向上を図るなどコンクール等を通じて労働災害防止に対する意識の啓発と安全意識の更なる高揚を図った。

5 地域安全確保活動

ア 県安全安心まちづくり運動への参加

福井県及び県警察が提唱する「安全安心まちづくり推進会議」に積極的に参画し、推進旬間中に京福バスの車両前面に「11. 1 警備の日」を周知するための広報幕の掲出や、巡回車に防犯広報用マグネット・シールを貼付して、視覚に訴える広報活動を展開した。

イ 大規模災害を想定した部隊編成と訓練の実施

平成29年6月1日に制定した「一般社団法人福井県警備業協会大規模災害警備支援隊設置運用要綱」に基づく災害支援隊の部隊編成を行ったほか、11月22日に小浜市で開催された中部管区広域緊急援助隊合同訓練に会長以下14名（うち本県から6名）が参加し、緊急交通路の確保訓練等を実施した。

ウ 暴力団等排除対策活動の推進

当協会は、昭和57年の警備業法改正以降、警備業からの暴力団排除を重点政策として掲げ、取り組んできた。

昨年度は、10月24日に福井市内で開催された「暴力追放福井県民福井大会」に暴追委員長以下25名が参加したほか、11月16日に当協会の暴力団排除対策委員会を開催し、県警察本部組織犯罪対策課の担当官から「県内の暴力団情勢」についての説明を受けたほか、平成30年の活動方針と事業計画(案)を決定した。また、福井県暴力追放センターの理事会等に参画し、最新の暴力団情勢と対策等について情報交換を密に行った。

なお、平成30年2月14日に予定していた暴排担当責任者（不当要求防止責任者）講習会は、諸般の事情により中止した。

エ 関係機関、団体等との連携及び支援活動の推進

福井県、県警察が主催する会議や県暴力追放センター、県防犯協会等に対する活動支援及び協力を行った。

| 関係機関名 | 月 日 | 摘 要 | 備 考 |
|--------------|-------|-------------------|-----------|
| 公安委員会 | 5. 9 | 公安委員会受託講習講師担当者会議 | 副会長、専務、講師 |
| 県警察本部 | 10. 5 | 県テロ対策パートナーシップ推進会議 | 専務 |
| 福井県 県警察本部 | 5. 17 | 安全・安心まちづくり推進会議幹事会 | 専務 |
| | 5. 19 | 安全安心まちづくり推進会議 | |
| | 9. 15 | 安全・安心まちづくり推進会議幹事会 | |

| | | | |
|------------|--------|----------------|-------|
| 暴力追放センター | 6. 15 | 暴力追放センター臨時理事会 | 専務 |
| | 10. 24 | 暴力追放福井県民福井大会 | 専務・会員 |
| | 11. 16 | 暴力団排除対策委員会 | |
| | 3. 6 | 暴力追放センター通常理事会 | 専務 |
| 防犯協会 | 3. 15 | 平成 29 年度(決算)総会 | 専務 |
| 福井県経済団体連合会 | 4. 18 | 事務局責任者会議 | 専務 |
| | 12. 15 | 事務局責任者会議 | 専務 |
| 福井労働局 | 12. 9 | わかもの就職応援説明会 | 専務、主事 |

6 警備員等の確保（定着）事業の推進

(1) 警備業界のPR

ア 「警備の日」の周知活動

全国警備業協会が提唱する「警備の日」の取組の一環として、福井県安全安心まちづくり推進旬間の初日から「警備の日」までの期間（10月11日～11月1日）、福井市内路線バスの車両前面に「11月1日は警備の日」と書かれた広報幕を掲出し、県民の目に留まる形の広報活動を展開した。

イ 労働局主催の雇用対策への参画

深刻な警備員不足に対応するため、12月9日、福井労働局主催の「わかもの就職応援会」に参画し、会場への来訪者に警備業の仕事内容の概要と社会に果たす役割等をアピールし、警備業界への就職を促した。

ウ 経営者研修会（採用力向上セミナー）の開催

2月1日、近畿経済産業局（中小企業団体中央会）主催による企業経営者対象の「採用力向上セミナー」に参画し、採用業務に当たっての心構えや要領等についての知識を習得した。

エ 機関紙「警協ふくい」の発行

部内機関紙「警協ふくい」100部を年2回（夏季号・新年号）、部内外に発行し、業界内の動向を報じた。また、女性警備員の確保に資するため、新年号では「輝く女性警備員」紹介コーナーを新設し、女性にスポットを当てた広報を行うこととした。

(2) 警備員の士気高揚

ア 警備業功労者等の表彰（平成29年5月30日実施）

(敬称略・順不同)

| 表彰の種別 | 氏名 | 年齢 | 警備業者名 |
|-------------------|-------|----|---------------------------|
| 警備業教育関係等 功労者表彰 | 坂本 俊彦 | 70 | 前 (一社)福井県警備業協会教育 センター長 |
| 永年勤続者表彰 | 杉岡 良孝 | 49 | (株)アイビックス |
| | 高橋 明男 | 40 | 〃 |
| | 京谷 徹 | 49 | 〃 |
| | 塚崎 省吾 | 56 | セコムジャスティック北陸(株) |
| 優良警備員表彰 | 小部 幸広 | 58 | (株)アイゼン |
| | 笠嶋 昌和 | 49 | 〃 |
| | 土肥 薫 | 52 | (株)アイメル |
| | 川島 雅和 | 59 | (株)オーイング |
| | 中澤 幸雄 | 59 | 〃 |
| | 江端 一高 | 42 | セコム北陸(株)福井統轄支社 |
| | 西部 治仁 | 51 | (株)ナスカ敦賀支店 |
| | 藤森 純 | 35 | (株)日興サーバンス |
| | 北濱 敏雄 | 69 | 福井ビル管理(株) |
| | 森山 有一 | 44 | 北陸総合警備保障(株)敦賀営業所 |
| | 熊谷 忠義 | 38 | 〃 |

イ 平成29年度健康増進ボウリング大会(平成30年1月27日開催「絆会主催」)
(敬称略)

| | | | | | |
|------|-----------------------------|-----------|----------|----|------|
| 開催月日 | 平成30年1月27日(土)13時30分から | | | | |
| 開催会場 | 福井市大和田68-1 福井スポーツクラブ WAVE40 | | | | |
| 参加者 | 16チーム48名 | | | | |
| 団体順位 | 優勝 | (株)法美社 | 奥田、玉崎、鈴木 | 得点 | 912点 |
| | 2位 | 日本通運(株)A | 野坂、伊藤、巻田 | 得点 | 901点 |
| | 3位 | ALSOK警送A | 田口、上田、亀井 | 得点 | 855点 |
| 個人順位 | 1位 | (株)法美社 | 奥田 光生 | 得点 | 375点 |
| | 2位 | (株)アイビックス | 八杉 颯 | 得点 | 366点 |
| | 3位 | 日本通運(株) | 野坂 和伸 | 得点 | 361点 |

7 職場環境の改善施策の推進

平成29年度は、新規雇用の確保対策として、福井労働局主催の「わかもの就

職応援説明会」や近畿経済産業局（福井県中小企業団体中央会）主催の「採用力向上セミナー」に参画し、警備事業者の採用意欲の向上と採用方策の改善等に努めた。

その他、各種表彰の上申をはじめ、交通委員会による安全パトロールや労働災害防止「論文・ポスター・標語」コンクール等による労災事故防止意識の啓発向上を通じ、職場環境の改善を促した。

8 経営者・幹部研修会等の開催

次の研修会を開催し、幹部職員としての見識と資質の更なる向上を図った。

| 開催日時（場所） | 研修テーマ | 受講者 |
|-----------------------------|--|-----|
| H29年5月31日 （福井市消防局防災センター） | プール監視業務に関し、「普通救命講習」を開催 | 29名 |
| H29年7月25日 （県自治会館） | 国体準備委員会を開催し、平成30年度の警備受注に向けた体制作りとえひめ国体の視察計画等について協議した。 | 25名 |
| H29年9月28日～10月1日 （愛媛県今治市） | 県国体推進局担当職員と合同でえひめ国体開会式の警備状況等を視察した。 | 専務 |
| H29年10月3日 （染織会館） | えひめ国体の視察結果を踏まえ、国体準備委員会部会長、県内JV4社の担当者による協議を行った。 | 7名 |
| H29年10月5日 （県警葵分庁舎） | 県警察の「テロ対策パートナーシップ推進会議」に参加し、重要施設等における警備対策をテーマにした講演の聴講、ハピリン前での県警察によるテロリスト制圧訓練を視察した | 専務 |
| H29年1月18日 （ウエル・アオッサ） | 福井国体を控え、県警察テロ対策担当官によるテロ防止に関する講演と、県警察警備業担当官による警備業の展望及び平成29年中の立入検査結果に基づく警備業法運用上の留意点に関する研修会を開催した。 | 48名 |
| H30年2月1日 （中小企業産業大学校） | 近畿経済産業局（福井県中小企業団体中央会）主催による「採用力向上セミナー」を開催し、採用を巡る情勢や効果的手法等を学んだ。 | 35名 |

9 特別講習事業の積極的な推進

(1) 北陸3県特別講習講師合同研修会への参加

石川県金沢市で開催された平成29年度中部地区特別講習講師合同研修会（北陸3県のブロック開催）に専務及び高橋透責任講師以下、施設及び交通担当講師10名が参加し、改正された特別講習教本に基づき必要な知識、技能の研さんに努め、各講師の教育能力及び実技訓練技能の向上を図った。

(2) 特別講習開催状況

特別講習を次表のとおり計6回開催（施設2級2回、施設1級・交通2級・雑踏2級（北三共催＝石川開催）・貴重品運搬2級を各1回）し、受講者総数264名、合格者数174名、1・2級平均合格率は65.9%（前年対比-4ポイント）で、全国平均（63%）を上回る実績を収めた。

また、昨年度は、交通2級の合格率が60.4%と前年度（46.7%）に比べて約14ポイント上昇したものの、施設1・2級と貴重品運搬2級のいずれの種別も合格率が低下した。

また、施設警備業務2級を中心に受講者数が前年に比べて55人減少したことも合格率低下の一因と思料される。

| 講習種別 | 実施別 | 実施月日 | 実施会場 | 受講数 | 合格数 | 合格率 |
|--------------------|-----|----------|--------|------|------|-------|
| 交通誘導2級 | 事前 | 4.22・23 | 免許センター | | | |
| | 本講習 | 5.6・7 | 〃 | 53名 | 32名 | 60.4% |
| 雑踏警備2級 （北陸3県共催） | 事前 | | | | | |
| | 本講習 | 6.17・18 | 石川開催 | 19名 | 14名 | 73.6% |
| 貴重品運搬2級 | 事前 | 6.17・18 | 免許センター | | | |
| | 本講習 | 7.1・2 | 〃 | 35名 | 19名 | 54.3% |
| 施設警備2級 | 事前 | 7.14・15 | 中企産大 | | | |
| | 本講習 | 7.22・23 | 〃 | 49名 | 35名 | 71.4% |
| 施設警備1級 | 事前 | 9.9・10 | 中企産大 | | | |
| | 本講習 | 9.23・24 | 〃 | 54名 | 35名 | 64.8% |
| 施設警備2級 | 事前 | 11.11・12 | 中企産大 | | | |
| | 本講習 | 11.25・26 | 〃 | 54名 | 39名 | 72.2% |
| 計6回 | | | 総計 | 264名 | 174名 | 65.9% |
| | | | 1級 | 54名 | 35名 | 64.8% |
| | | | 2級 | 210名 | 139名 | 66.2% |

10 警備員指導教育責任者等講習の実施

公安委員会から委託された警備員指導教育責任者講習(1～4号)及び機械警備業務管理講習を次表のとおり計5回実施した、受講者総数50名、合格者総数40名、平均合格率は80.0%(前年対比-2ポイント)で、ほぼ前年度並みの合格率を収めた。

| 講習種別 | | 実施期間 | 受講者数 | 合格者数 | 合格率 |
|------|---|-------------|------|------|--------|
| 1号 | 新 | 6.12～6.20 | 22 | 16 | 72.7% |
| | 追 | 6.23～6.28 | 2 | 2 | 100.0% |
| 2号 | 新 | 7.10～7.18 | 4 | 3 | 75.0% |
| | 追 | 7.13～7.18 | 5 | 4 | 80.0% |
| 3号 | 新 | 8.22～8.29 | 4 | 4 | 100.0% |
| | 追 | 8.25～8.29 | 1 | 1 | 100.0% |
| 4号 | 新 | 8.22～8.28 | 1 | 1 | 100.0% |
| | 追 | 8.25～8.28 | 8 | 7 | 87.5% |
| 機械管理 | | 10.17～10.20 | 3 | 2 | 66.7% |
| 計 | | | 50名 | 40名 | 80.0% |

平成29年度労働災害防止 標語等コンクール入選者

- 【論文の部】 準特選 交通誘導現場への適切な警備員の配置
谷口晃氏 (株アイメル)
- 【ポスターの部】 準特選 あわてるな あなたの油断が 事故招く
吉崎緑里氏 (株ナイガイ)
- 【標語の部】 特選 「たぶん、だろう」は命取り 慣れた作業に 死角あり
山路佑一氏 (株ナスカ敦賀支店)
- 準特選 ゼロ災害 危険予知の 積み重ね
熊谷直久氏 (株ナイガイ)
- 労務委員会委員長賞 油断と過信は事故の元 気を引き締めて 安全作業
谷川真彦氏 (株アイビックス若狭支店)